

文化庁芸術団体人材育成支援事業・日本オペラ団体連盟人材育成オペラ公演

ジャコモ・プッチーニ 作曲

修道女アンジェリカ ジャンニ・スキッキ

Giacomo Puccini

Suor Angelica
Gianni Schicchi

主催／日本オペラ団体連盟

ジャコモ・プッチーニ作曲

「修道女アンジェリカ」「ジャンニ・スキッキ」

各1幕 字幕付原語上演

2005年11月5日(土)・6日(日)

新国立劇場中劇場

指揮 菊池彦典

演出 岩田達宗／喜田健司

管弦楽 東京ニューフィルハーモニック管弦楽団

オルガン 室井 摂

ピアノ 奥谷恭代／藤原藍子

美術 増田寿子

照明 成瀬一裕

衣裳 半田悦子

舞台監督 佐藤公紀

助手 秦 恭子／永田順子／佐藤 暢／和田みゆき

副指揮 小屋敷 真／田邊賀一

児童合唱指導 高山桂子

音楽スタッフ 奥谷恭代／久保晃子／藤原藍子／室井 摂／村上尊志

字幕 平野 満

大道具製作 スタッフユニオン

大道具操作 TCS／ジ・アクト・コネクション

照明操作 あかり組

衣裳 東京衣裳

ヘアメイク 丸善かつら

字幕操作 アルゴン社

小道具 スタッフユニオン

履物 浪原靴店

楽器協力 ヤマハ株式会社

制作 日本オペラ団体連盟

修道女アンジェリカ

	11/5	11/6
アンジェリカ	渡辺ローザ	石田亜希子
公爵夫人	三輪陽子	木下裕子(賛助出演)
修道院長		仲野玲子(賛助出演)
修女長	高橋直子	梅澤幸代
修練長	横堀裕美	上田由紀子
修道女ジエノヴィエッファ	谷本暁	谷口晶子
修道女オスミーナ	森裕美子	井田久美子
修道女ドルチーナ	吉村恵	清水純
看護修道女	太田小百合	小森美枝
托鉢修道女		竹田有輝子／岡本実佳
修練女	青木優子	小田切一恵
助修女		青柳有香子／雄谷支保子
子ども		大貫道成

合唱 水上恵理、栗原桃子、倉林ルミ子、萩原こずえ、
 鈴村鮎子、田丸桂子、宮本靖子、内山朋香、
 長澤美希、高村清子
 児童合唱 多摩ファミリーシンガーズ
 伊藤なつ美、宮武綾音、田中萌実、片山めぐみ
 鳥海未帆、森本里花、津城麻也子、市川若菜、佐藤まどか

ジャンニ・スキッキ

	11/5	11/6
ジャンニ・スキッキ	栗原剛	森口賢二
ラウレッタ	平川千志穂	清水理恵
ツィータ	三津山和代(賛助出演)	住沢布美子
リヌッチオ	手島英	村越大春
ゲラルド	沖野孝頼	志摩大喜
ネッラ	末吉朋子	新垣有希子
ベット		古沢利人
シモーネ		東原貞彦
マルコ		真鍋裕
ラ・チェスカ	陰山雅代	山口由里子
ゲラルディーノ		小林真美子
スピネロッチョ		中村靖(賛助出演)
アマンティオ・ディ・ニコラーオ		久保田真澄(賛助出演)
ピネルリーノ		松山いくお(賛助出演)
グッチオ		牧野正人(賛助出演)

あらすじ

《修道女アンジェリカ》

17世紀末ごろ、中部イタリアのある修道院の中庭。礼拝堂の中から、修道女たちの祈りの歌声がひびいてる。遅れてきた修道女2名とアンジェリカもこれに加わる。

やがて礼拝が終わり、修道女たちが中庭に出てくる。修女長は2人の修道女とアンジェリカの遅刻を問責し、その他の不行儀なものにも罰をあたえる。修練長もこれに同調し、他のものには休息を与える。

修道女たちは中庭に散らばって、思い思いのことをしていいる。彼女たちは一年前に亡くなったビアンカ・ローザのことを思い出し、ジェノヴィエッファの提案でその墓に花を捧げる。だがアンジェリカだけは「死者に捧げる花より、生に咲く花こそ望ましい」と語り、彼女の言葉を受けて修道女たちは次々に自分の願いや望みを語りはじめる。彼女たちはアンジェリカにもそれを語るよう求めるが、彼女は「何もない…」と答えるだけ。修道女たちは彼女の身の上について噂し合う。

アンジェリカは裕福な貴族の娘で、7年前に伯母の公爵夫人によって、この修道院に入れられたことが明らかになる。そこへ看護修道女が駆け込んでくる。修道女キアラが蜂に刺されて苦しんでいることを告げる。アンジェリカは薬草を摘んで薬の処方を説明してやる。

そこへこんどは托鉢修道女たちが戻ってくる。彼女たちは、この中の誰かに面会人がきたらしいことを話してきかせる。まもなく修道院長が、その面会人はアンジェリカであることを告げると、もしや自分ではと期待した修道女たちは落胆し、墓地の方へと去る。

やがて修道院長が公爵夫人を導いてくる。アンジェリカは伯母である夫人に近づこうとする。しかし夫人は冷たい態度と口調で、アンジェリカの妹の婚儀が整ったことを語ると、亡き親の遺産分配のことで、書類に署名をと要求するのだった。愛する妹の幸福を喜んだアンジェリカは、相手はどんな人か、と訊ねるが、夫人は「不実な恋で傷ついた家名を立て直してくれる人」と答えるばかり。アンジェリカはかつて未婚のまま罪の子を産み、そのためにこの修道院に入らねばならなかったのだった。公爵夫人は今も彼女の過去の過ちを許してはいない。思わず「なんと残酷なた！」とアンジェリカは叫ぶのだった。

彼女は7年の間すべてを聖母マリアに捧げてきたが、たったふとつけ忘れぬことがあった。それは彼女が産んだ子供のことであり、その子の消息であった。そのことを必死に訊ねる彼女に、「あの子は病気のため死にました」と答える公爵夫人。アンジェリカは悲鳴とともにその場に倒れてしまう。

アンジェリカの署名した書類をもって公爵夫人は立ち去る。ひとり残った彼女は絶望から悲嘆にくれる。修道女たちが墓地からもどり彼女を助け起こす。入室の時刻を告げる合図がきこえ、修道女たちはそれぞれの部屋へともどっていく。

やがてアンジェリカがひとり中庭へ出てくる。彼女は薬草から毒薬を調合する。それを飲み、愛する我が子のもとへ行こうとするのだった。

しかし、自殺という罪の呵責が彼女を捉える。必死に祈るアンジェリカの耳に、やがて天使たちの歌声がきこえてくる。その声の高まりとともに礼拝堂が光り輝き、奇蹟が起ころる。

彼女の目には一人の子供の姿がみえ、歓喜につつまれながら、アンジェリカは静かに息をひきとる。

《ジャンニ・スキッキ》

フィレンツェ。金持ちの老人ボーザ邸の寝室。いましがた息をひきとったばかりのボーザの亡骸が寝台に横たえられ、親類たちがそれを取り囲んでいる。

親類一同は嘆き悲しんでいるように見えるが、本心は莫大な遺産のことしか頭にない。ボーザの義弟ベットの話によれば、町の噂に、故人の遺産はすべてある修道院へ寄贈されるという。さあ、人びとはくやみどころではない。そんな遺言が残されていたのでは大変と、部屋中を大騒ぎで探しまわる。

青年リスッチオがようやくその遺言を探して、それを開封し中身を読む前に、ラウレッタとの結婚の承諾も求めるが誰も彼の言葉など意にとめるものはいない。一同は遺書の内容をむさぼるように読む。

遺書を読み終えた一同は絶望のあまり、その場に座り込む。噂は本当だったのだ。やがて冷静を取り戻した彼らは、なんとかならぬものかと考えをめぐらすうち、リスッチオが恋人ラウレッタの父、ジャンニ・スキッキの名をあげる。一同は口ぐちにあんな田舎者と、スキッキをののしっていると、そこへ当のスキッキと娘のラウレッタが登場する。

リスッチオはスキッキに、なんとかいい方法はないものかと相談するが、悪態をついたスキッキは「こんな奴らの利益など知ったことか！」と取り合わない。しかし娘ラウレッタのリスッチオを想う気持ちにはだされて、遺言を読んでは考えをめぐらす。

やがてスキッキはある提案をする。彼は自分でボーザになりますし、公証人に改めて遺言を口述すると説明する。それにはボーザがまだ生きていることになくてはならないので、協力するよう求め、一同は喜んでこの計画に加担する。

さて、親類たちはまたまた遺産の分配について勝手な欲を主張する。スキッキは「もしこれがバレたら、この計画に加担したものは全員、右手首をきり落とされ、町から追放されることになる」と一同に釘をさし、おじけづかせる。

まもなく公証人がやってくる。スキッキはまず、さきの遺言の無効を宣言し、親類一同にそれぞれ望みのものを一通り与えてから、遺産のうちでもっとも価値のあるものを次々とあげ、それらを「わしの忠実な友人、ジャンニ・スキッキに与える」という。スキッキにいっぱいくわされたと知った一同は、日々に彼を罵倒するが、スキッキは素知らぬ顔で「さらば、フィレンツェ…」を歌い、また「手のない腕で別れの挨拶を…」などと一同を脅しながら、思い通りの遺言を終える。

こうして望みのものを手に入れたスキッキは、親類連中を追い出すと舞台の中央へ進み出て、「皆様とあの偉大なダンテ様が、もし此の芝居をお気に召して下さったならば、きっとこのスキッキをお許し下さるでしょう」と高笑するうちに幕となる。



菊池彥典（指揮）

東京芸術大学卒業後、ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院に留学。フランコ・フェッラーラ氏に師事。シェナ夏期指揮コースにて名誉学位を授かる。1970年ローマ・サンタ・チェチーリア音楽院オーケストラを指揮してデビュー。1973年～77年までイタリアのパレルモ・マッシモ歌劇場付属中央養成所にて、往年の名歌手ジーナ・チーニャとともに国際的オペラ歌手の養成にあたる。1978年～83年までドイツのヴィスバーデン歌劇場と契約し本格的な指揮活動を開始。またヨーロッパ各地に数多く客演し、イタリア・オペラを主軸としたレパートリーで活躍する。ベルリン・ドイツ・オペラでは初の日本人指揮者として「ルチア」を指揮し、成功を収めた。1983年よりフリーとなり、85年にはミラノ・スカラ座での新制作「蝶々夫人」（浅利慶太演出）の指揮で話題を集め、同年ラヴェンナ・オペラ・フェスティヴァルおよび87年アレーナ・ディ・ヴェローナに日本人指揮者として初めて登場、レナータ・スコット演出「蝶々夫人」で大成功を収めた。

1988年秋、藤原歌劇団「蝶々夫人」で日本デビューを飾り絶賛を博す。その後もヨーロッパ各地で活躍の一方、藤原歌劇団で数々のオペラを指揮し、日本では数少ないオペラのエキスパートとして不動の名声を確立する。

1998年より活動の拠点を日本に移し、早速、新国立劇場に「蝶々夫人」でデビュー。その後も新国立劇場、新星日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団などオペラ、各種コンサートを指揮、日本を代表するオペラ指揮者として国際的な活躍を続けている。特にイタリア・オペラへの造詣の深さは定評があり、表現力の豊かな情熱的演奏で聴衆を魅了している。

2005年よんでん芸術文化賞受賞。昭和音楽大学教授。



岩田達宗（演出）

東京外国语大学フランス語学科卒業後、劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に参加。オペラの舞台制作にかかる。1991年より栗山昌良氏に演出助手として師事。

1996年湘南台市民シアター「靈媒」にて演出家デビュー。その年の五島記念文化賞オペラ新人賞を受賞。1998年より2年間、ドイツ、イギリスを中心にヨーロッパ各地を遊学、研鑽を積む。帰国後、本格的にオペラ演出家として活動を始める。日生劇場、新国立劇場、びわこホール、日本オペラ協会、コレギウム・ムジクラ、藤沢市民オペラ、神戸市演奏家協会など各地のオペラ・プロダクションで次々と独自の発想による作品を発表し、高い評価を得る。なかでも2003年に境シティオペラで発表したプッチーニ作曲「三部作」は、同年の音楽クリティッククラブ賞、大阪府舞台芸術大賞、佐川吉男賞を独占した。またソプラノ佐藤美枝子とのコンビによるモノオペラ「幻想のルチア」では構成と台本も担当し、好評を得て全国を巡演中。ほかにオペラの台本も担当し、なかでも作曲家松井和彦との協同作による実験オムニバスオペラ「英雄達のクライマックス」はこれまで倉敷、福山、神戸、境で発表され、多大な成功を収めている。

最近の主な演出作品は、2003年より始まったザ・カレッジ・オペラハウスのサマー・オペラ《モーツアルトシリーズ》「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コジ・ファン・トゥッテ」。釜洞裕子プロデュースによるいづみホール「春琴抄」「カルメル会修道女の対話」。びわこホール夏のビエンナーレオペラ第一弾「ジプシー男爵」。愛知万博開催記念、新実徳英作曲「シンフォニック・オペラ白鳥」初演など。

喜田健司（演出）

香川県出身。昭和音楽大学卒業。同専攻科修了。

演出を高岸未朝氏に学ぶ。

「白墨の輪」（加藤直演出、神奈川県民ホール）、「ヘンゼルとグレーテル」（十川穂演出、日本オペラ団体連盟）「友人フリツ」（高岸未朝演出、新国立劇場）、「三人の女達の物語」「たそがれは逢魔の時間」（岩田達宗演出、日本オペラ協会）等、多数の公演スタッフを務める。





渡辺ローザ (5日 アンジェリカ)

国立音楽大学声楽科を首席で卒業、同大学院オペラコース修了。ロータリー財団奨学生として2年間イタリアのミラノ音楽院に学ぶ。声楽は渡辺馨、田島好一、ロベルト・ネーベリ、ロゼッタ・エリー、エウジニア・ラッティ、マリエッラ・アダーニ、吉川具仁子の各氏に師事。

大学卒業の際、武岡賞を受け、NTTドコモより奨学金を得る。2001年6月イタリア、アックイテルメの第3回国際ブームス・コンクールにて第3位。

1997年には第65回読売新人演奏会に出演。翌年には藤井一興氏音楽監修の「モーツアルト贊歌」(福岡県田川市)、国立音楽大学大学院オペラ「フィガロの結婚」(ケルビーノ役)に出演。2001年イタリアのフィオレンツォーラ市のヴェルディ歌劇場で「リゴレット」のジルダを歌い、現地新聞に「見事な役の表現力と確実な声楽の技術を持っており、聴衆を感動させた」と絶賛された。ブームスのドイツ・レクイエムのソプラノ・ソロ、渡辺馨とのジョイント・リサイタル、数度のリサイタルといずれも高い評価を得ている。

藤原歌劇団団員。



石田亜希子 (6日 アンジェリカ)

武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業。在学中オペラコースにて、A. スカルラッティ『貞操の勝利』にドラリーチェ役で出演。同大学卒業演奏会出演。日本オペラ振興会オペラ歌手育成部19期修了。修了公演J. マスネ『サンドリヨン』にサンドリヨン役で出演。第12回全日本ソリストコンテスト審査員賞受賞。第39回日伊声楽コンクール入選。日生劇場国際ファミリーフェスティバル、ニノ・ロータ『アラジンと魔法のランプ』に姫役で出演。岡崎雅明、緑川まり、古川豊、横山修司、E. オプラスツォワの各氏に師事。

藤原歌劇団準団員。



三輪陽子 (5日 公爵夫人)

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了

04「エレクトラ」マクトII、2005年“高校生のための鑑賞教室”「蝶々夫人」スズキで新国立劇場にて出演。

コンサートでは「メサイア」「レクイエム」ミサ曲や「第九」のアルトソロで出演。

二期会会員。



高橋直子 (5日 修女長)

昭和音楽大学卒業。同大学院オペラ専攻修了。

山田祥雄、須永真知子両氏に師事。

大学院修了公演にてヴェルディ作曲「ファルスタッフ」メグ役を演じる。

地元東京都墨田区を中心に演奏活動をしている。

藤原歌劇団準団員。



梅澤幸代 (6日 修女長)

昭和音楽大学卒業。同大学音楽専攻科修了。

修了時学長賞受賞。財日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第24期修了。修了公演J. マスネ「サンドリヨン」にシャルマン王子役で出演。

新潟県合同新人演奏会出演。第39回新潟県音楽コンクール声楽部門最優秀賞受賞。同コンクール受賞者記念コンサート出演。

竹田友子、早瀬一洋、松浦健、下原千恵子の各氏に師事。

藤原歌劇団準団員。



横堀裕美 (5日 修練長)

白鷗大学足利高等学校音楽科卒業。昭和音楽大学音楽学部声楽科卒業。
(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部マスタークラス第24期修了。
石原理恵、田中孝男、五十嵐郁子、福島佳子の各氏に師事。
修了公演にてマスネ（作曲）「サンドリヨン」アダム・アルティエール（継母）にて出演。
藤原歌劇団準団員。



上田由紀子 (6日 修練長)

浜松学芸高等学校音楽科卒業。東京芸術大学音楽学部卒業。
栗林義信、永井和子、秋山理恵の各氏に師事。
アメリカ（ニューヨーク、フィラデルフィア）に留学、研鑽を積む。イーストマン音楽学校
夏期講習参加、ポートランドヤングオペラアーティストプログラム（オレゴン州）で奨学金
を得て学ぶ。演技をカボ・ピアンコ氏に師事。リタ・シェーン、カルロス・セラーノの各氏
に師事。静岡AOI10周年記念オペラ「あまんじゃくとうりこひめ」（うりこひめ役）、浜松市
政90周年オペラ「三郎信康」（みの役）、「ラ・トラヴィアータ」（ヴィオレッタ役）「ドン・
ジョバンニ」（ツェルリーナ役）、IFAC公演「フィガロの結婚」（バルバリーナ役）に出演。
2002年03年リサイタルを開催。東京音楽コンクール、日本声楽コンクール入選。
二期会オペラ研修所49期マスタークラスに在籍中。



谷本 晓 (5日 ジエノヴィエッファ)

香川県立坂出高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽学部演奏学科声楽科卒業、同大学研究科2年修了。
(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第24期修了。
第24期修了オペラアンサンブル公演“花言葉”Governante役、第24回新人演奏会に出演。
大島幾雄、大橋ゆり、柿沼伸美の各氏に師事。
藤原歌劇団準団員。



谷口晶子 (6日 ジエノヴィエッファ)

浜松学芸高等学校音楽科卒業。武蔵野音楽大学声楽科卒業、同大学大学院、共に首席修了。
二期会オペラ研修所マスタークラス第48期修了時優秀賞受賞。
読売新人演奏会、サントリーホール・デビューコンサート、24TV「愛は地球を救う」クラ
シックコンサート等に出演。オペラでは＜魔笛＞侍女I役、＜コジ・ファン・トウッテ＞フ
ィオルディリージ役で出演。
第11回日本クラシック音楽コンクール、一般の部奨励賞受賞。
古屋豊、山口道子、郡司忠良、仁田ちさ、E.マイエロン、E.オプラスツォワの各氏に師事。
武蔵野音楽大学附属音楽教室講師、二期会会員、東京室内歌劇場会員。



森裕美子 (5日 オスマーナ)

山口県出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院声楽科（フランス歌曲コース）修了。
渡伊、第10回日仏声楽コンクール入選。第3回長江杯国際音楽コンクール声楽部門第1位。
多摩六都オーディション合格、コンサートに出演。
コンセールヴィヴァンオーディション合格、優秀賞受賞。同大学卒業演奏会、同大学院新人
演奏会、第70回二期会オペラスタジオコンサート、二期会新進家の夕べ等多数のコンサー
トに出演。
2001年より4年間文化庁本物の舞台事業ブリテン作曲オペラ「オペラを作ろう!小さなエント
ソうじ屋さん」ジョン・クロム役で出演。山口県岩国市にてベートーベン作曲「合唱幻想
曲」ソリストを務める。2002,2004年東京都昭島市にて、チャペルコンサートを開く。
阿部富美子、ジョリアーノ・チャンネラ、宗像誠哉に師事。
二期会会員。



井田久美子（6日 オスミーナ）

昭和音楽大学短期大学部声楽科卒業
日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了
イタリアにて研鑽を積む。大谷冽子、徳田京子、井田安子、寺川信男、L・ルアーナ各氏に師事。
オペラ「フィガロの結婚」「ヘンゼルとグレーテル」「天国と地獄」「椿姫」「リゴレット」などに出演。「第九」「エリ亞」などソリストを務める。
二期会準会員埼玉オペラ協会会員。



吉村 恵（5日 ドルチーナ）

昭和音楽大学卒業。昭和音楽大学大学院修了。
故市川由紀子、五十嵐郁子の両氏に師事。
田園友の会主催、都筑春のジョイントコンサート出演。
第74回横浜氏新人演奏会出演。



清水 純（6日 ドルチーナ）

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。二期会オペラスタジオ第40期マスタークラス修了。
二期会新進声楽家のタベ、《愛の妙薬》アディーナ、《椿姫》アンニーナ、《コシ・ファン・トゥッテ》デスピーナ、《魔笛》パパゲーナ、侍女、《ボッカチオ》フィアメッタ、ペロネッラ、《天国と地獄》キューピット、《ルクセンブルク伯爵》ココゾフ、《二人の心はフルツを奏で》女、《リーベクロスター》カタリーナ、バルバリーナ、スザンナ等に出演。
2006年3月、NPOサロンオペラトナカイ《コシ・ファン・トゥッテ》にフィオルディリージ役で出演予定。東京オペラ・プロデュース・メンバー、☆オペレッタ座☆座員、二期会会員。



太田小百合（5日 看護修道女）

洗足学園大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に「優秀賞」受賞。同大学附属オペラ研究所第8期修了。洗足学園大学大学院音楽研究科声楽専攻修了。二期会オペラスタジオ第43期マスタークラス修了。大学在学中、洗足学園大学オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」の眠りの精でオペラデビューするこれまでにオペラではベルゴレージ作曲「奥様女中」のセルピーナ、モーツアルト作曲「魔笛」のバミーナ、「フィガロの結婚」のスザンナ、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルディリージ、フンバーティング作曲「ヘンゼルとグレーテル」のグレーテル等を演じている。宗教曲においてもヴォーン・ウィリアムス作曲「Dona nobis pacem」や、フルトヴェングラー作曲「テ・デウム」(日本初演)のソプラノソロを務めた。声楽を、阿部順子・築地文夫・松井和彦・福島明也の各氏に師事。2000年、第2回「万里の長城杯国際音楽コンクール」声楽・一般の部第3位入賞。
日本声楽家協会研究員、二期会会員、洗足学園大学音楽学部ピアノ科歌曲伴奏法ティーチングアシスタント。



小森美枝（6日 看護修道女）

日本大学芸術学部音楽学科首席卒業。同大学院修了。読売新聞社主催第65回新人演奏会出演。1997年にイタリアへ留学し2002年に帰国。2003年にはモスクワ(ロシア)・ノーヴァヤオペラ劇場の共演、オペラ「ルサルカ」(ダルゴムイシスキ作曲)のオリガ役でデビューした。2004年にはマリンスキ劇場のアカデミアオーディションに合格し、オペラ「ルサルカ」の東京公演にも出演、好評を博す。2005年はチャイコフスキ作曲オペラ「イオランタ」のラウラ役で出演予定(東京)。渡辺馨、小森健児、松本美和子、ジャン・フランコ・バスティネ、エレナ・オブ拉斯ツワ、ラリーサ・ゲルギエワに師事。

二期会会員、東京オペラプロデュース会員。



竹田有輝子（両日 托鉢修道女）

武蔵野音楽大学卒業。同大学院修了。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部20期修了。1999年友愛ドイツ・リートコンクール入選。第9回多摩フレッシュ・コンクール入選。これまでに、『イル・カンピエッロ』ニエーゼ役、『泥棒とオールドミス』レティーシャ役、『おこんじょうるり』おこん役、『ヘンゼルとグレーテル』グレーテル役、『魔笛』夜の女王役等のオペラに出演。
河村昭世、山口道子、E.オブラスツオワの各氏に師事。
藤原歌劇団準団員。



岡本実佳（両日 托鉢修道女）

武蔵野音楽大学卒業。(財)日本オペラ振興会育成部19期修了。2001年からイタリア・ミラノへ留学し2005年4月に帰国。ミラノにてヴェルディの家の定期コンサート、ガラーテ、ボッコーニ大学、ポロモーツァルト(ミラノ市主催)など数々のコンサートに出演。第10回ヴァレンナコンクール4位。第2回ヴェルチェッリ国際コンクール入選。第2回カルロゴメス国際コンクール入選。
菊池英美、F.カステッラーナ、L.ヴァスター、L.ゴルラ、諸氏に師事。
藤原歌劇団団員。



青木優子（5日 修練女）

神奈川県出身。桐朋学園大学音楽学部声楽専攻卒業、同大学研究科修了。桐朋学園主催「卒業演奏会」「歌曲の夕べ」等出演。第14回日本声楽コンクール入選、第80回二期会オペラ研修所コンサート、新進演奏家の夕べに出演。
二期会オペラストゥーディオ第48期修了時優秀賞受賞。
栗林朋子、戸田敏子両氏に師事。
二期会会員。宮地楽器声楽講師。



小田切一恵（6日 修練女）

国立音楽大学声楽科卒業。同大学卒業演奏会ならびに神奈川県新人演奏会に出演。東京芸術劇場にて、日伊交歎ガラ・コンサート、中川牧三生誕一世紀記念ゴールデン・ガラ・コンサートに出演。(財)日本オペラ振興会第20期修了。
オペラでは、「秘密の結婚」(カラリーナ)、「魔笛」(童子)、「電話」(ルーシー)、「フィガロの結婚」(花娘)、「照手姫」(侍女)、「小さな煙突掃除屋さん」(ソフィー)、「オズの魔法使い」(ドロシー)等に出演。また、第2回日本演奏家コンクール(大学の部)第3位入賞(第1,2位該当者なし)。第2回東京音楽コンクール声楽部門入選。中村浩子、岩崎由紀子両氏に師事。

藤原歌劇団準団員。横浜シティオペラ会員。



青柳有香子（両日 助修女）

国立音楽大学卒業。二期会オペラ研修所オペラストゥーディオ第45期修了。
第一回 Japan Beethoven Festival コンクール声楽部門第三位。
第四回大阪国際音楽コンクールファイナリスト。
2000年、オーストリア国立モーツアルテウム音楽院にて行われたザルツブルグ国際音楽アカデミースタークラスにて研修。2002年12月、及び2004年8月に東京芸術劇場大ホールにて行われたベートーヴェン「第九」公演にてソリストを務める。また2004年12月行田市産業会館にて行われた行田市市政施行55周年記念演奏会「第九」公演にてソリストを務める。(管弦楽:東京ニューシティ管弦楽団) 2004年5月にはワルシャワに於いてドヴォルザーク「スタバト・マーテル」公演のソリストとしてポーランド国立放送交響楽団と共に演。これまでに声楽を牧山静江、友清和親、田中誠、B. A. マーティンの各氏に、室内楽をC. ハック氏に師事。

二期会準会員。



雄谷支保子（両日 助修女）

京都市立音楽高等学校卒業。卒業時に京都コンサートホール大ホールにて卒業演奏会に出演。東京芸術大学卒業。

在学中に多数の演奏会に出演。卒業時に同声会主催の新人演奏会（奏楽堂にて）出演。併せて同声会賞受賞。第2回ノーヴィ国際音楽コンクール奨励賞受賞。

（財）日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第24期修了。修了オペラアンサンブル公演「花ことば」ではドンナ・ロシータ役を演じる。

（財）日本オペラ振興会主催第24回新人演奏会出演。

これまでに渡邊陸雄、中村千恵子、正木眞理、日比啓子、南條年章の各氏に師事
藤原歌劇団準団員。



大貫道成（両日 子ども）



木下裕子（6日 公爵夫人/賛助出演）

東京芸術大学卒業。（財）日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第6期修了。

1997年渡伊。ヴィテルボ市テアトロコムナーレオーディション合格。

「椿姫」のフローラ、「ルチア」（演奏会形式アリーサ）に出演他、各地で演奏会やTVに出演。日本オペラ協会では「よさこい節」の寅、「黒船」の姐さん、「春琴抄」のてる女、「瀧廉太郎」の母、文化庁芸術祭記念公演「モモ」「美女と野獣」等のオペラ、日本歌曲連続演奏会等に出演を重ねる。日中国交回復30周年記念公演小澤征爾指揮「蝶々夫人」北京公演では、プレビュー公演にスズキ役として出演、好評を博した。

各地での日本初演作品を含むリサイタル活動や、ベートーヴェン「第九」、ヘンデル「メサイヤ」、モーツアルト「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「ミサ・ソレムニス」、ブルックナー「大ミサ」、ロッシーニ「スタバトマーテル」他数多くの宗教曲等のアルトソロとしても活躍している。

藤原歌劇団団員。



仲野玲子（両日 修道院長/賛助出演）

国立音楽大学卒業。（財）日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第5期生修了。在籍中、新日ファイル「第8回ピアノ協奏曲とオペラアリアのタベ」に出演。

練馬文化会館主催「霊媒」のパパでオペラデビュー後、「領事」の母、「海」のモーリアをはじめ福井オペラ「ヘンデルとグレーテル」の母に出演。藤原歌劇団では「カルメン」のメルセデスで本公演デビューし、「椿姫」フローラでヴィクトリア・ルキアネッツ、マルセロ・アルバレス、サントリー・オペラ「リゴレット」ではレナート・ブルゾン、「スーパー・オペラ・ガラ・コンサート」では、アグネス・ヴァルツァ、ホセ・カレーラス等、世界の一流歌手との共演その他、多数のオペラ、コンサート、NHK・FMなどでも活躍する。

2003年・2004年ポルトガルの里斯ボンにおいて、在ポルトガル日本大使館、アジューダ宮、文化庁及び国立文化保護院共催による日蘭音楽交流リサイタルに日本側の歌手として出演。笛田和子、伯田好史、鎌田滋子、Lorreine Nubar、Dalton Baldwin諸氏に師事。

藤原歌劇団団員。



栗原 剛 (5日 ジャンニ・スキッキ)

島根県出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院オペラ科修了。大学院主催のオペラ「コシ・ファン・トゥッテ（グリエルモ）」に出演。

二期会オペラ研修所修了（優秀賞）。新進歌手を中心とした二期会公演「フィガロの結婚（フィガロ）」でデビューする。これまでに、「フィガロの結婚」フィガロ、伯爵、「コシ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「ドン・カルロ」ロドリーゴ、「運命の力」フラ・メリトーネ、「ラ・ボエーム」マルチエッロ、「泥棒とオールドミス」ボブ、「ジャンニ・スキッキ」マルコ、等に出演している。

最近では05年6月に杉並区民オペラ「こうもり」のアイゼンシュタイン、7月に二期会公演「ジャンニ・スキッキ」のアマンティオ（ジャンニのカヴァーも同時に務める）、10月には二期会ニューウェーブオペラ劇場「ジュリアス・シーザー」でクーリオを演じ、いずれも好評を博した。06年7月には二期会公演「蝶々夫人」に神官役で出演が予定されている。

二期会会員。



森口賢二 (6日 ジャンニ・スキッキ)

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第35回、36回日伊声楽コンソルソ入選。第68回日本音楽コンクール声楽部門（オペラ）入選。第22回飯塚新人音楽コンクール第1位。オペラのレパートリーには、「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵、「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、「セビリアの理髪師」フィガロ、「ランメルモールのルチア」エンリーコ、「リゴレット」タイトルロール、「椿姫」ジェルモン、「ラ・ボエーム」マルチエッロ、「トスカ」スカルピア、「カルメン」エスカミーリョ他多数。その他にソリストとしても、ベートーベン「第九」、シューベルト「ミサGdur」、モーツアルト「クレード・ミサ(KV.257)」、フォーレ「レクイエム」等に出演。

2001～2003年イタリアに留学。現地にて数々のコンサートに出演。

藤原歌劇団団員。



平川千志保 (5日 ラウレッタ)

国立音楽大学声楽学科卒業、同大学大学院声楽専攻オペラコース修了。

二期会オペラストゥディオ第46期マスターコース修了、修了時に優秀賞を受賞。同オペラストゥディオ第6期プロフェッショナルコースを修了。国立音楽大学大学院オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」「魔笛」に出演。日本オペラ団体連盟人材育成オペラ公演「ヘンゼルとグレーテル」露の精役に出演。バッハ「カンタータ78番」等の宗教音楽のソリストとしても研鑽を積む。

第10回多摩フレッシュコンクール声楽部門第1位入賞。第7回コンセルマロニエ声楽部門入選。第39回日伊声楽コンソルソ入選。第34回イタリア声楽コンソルソ・シェナ部門入選。第3回“Luigia Stramesi”国際音楽コンクールオペラ部門第3位入賞。

中村健、久岡昇、佐藤峰子、渡邊誠の各氏に師事。

現在、イタリア・ピアチェンツァの国立G・ニコリーニ音楽院に在学中、ラウラ・グロッピ、ミレッラ・フレーニ、ルチアナ・セッラ、レオナルド・マルツァガリアの各氏に師事。

二期会会員。日伊声楽協会会員。



清水理恵 (6日 ラウレッタ)

東京音楽大学オペラコース卒業。同大学同コース研究生修了。

第38回日伊声楽コンソルソ入選、第41回同コンソルソ第2位。

東京文化会館新進音楽家オーディション合格、同デビューコンサートに出演。日本オペラ振興会主催フレッシュコンサートに出演。オペラでは同大学同コース公演「ドン・ジョバンニ」エルヴィーラ、「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ、文化庁人材育成事業「フィガロの結婚」花娘、創作歌劇「僕は夢を見た、こんな満開の桜の木の下で」に出演。

2003年イタリア・ボローニヤに短期留学。

坂本紀男、石原克美、安達さおり、横山修司、寺川信雄、パオロ・コーニの各氏に師事。

藤原歌劇団団員。日伊音楽協会会員。埼玉オペラ協会会員。



住沢布美子（6日 ツィータ）

昭和音楽大学卒業、同大学院音楽研究科オペラ専攻をオペラ「ラ・チェッキーナ」のパオロッチャ役で修了。

昭和音楽大学卒業演奏会、神奈川県湘南支部新人演奏会、フレッシュパワーコンサートなど様々な演奏会に出演する他、地元、青森でも演奏活動を行っている。

また、今年の12月にはサントリーホールで行われる昭和音楽大学メサイア公演に出演予定。細川久美子氏に師事。

藤原歌劇団準団員。



手島 英（5日 リヌッチョ）

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同声会新人演奏会に出演する。

96～98の間にスペインのマドリードに留学。96年と98年にサンタンデールで行われたレイナ・ソフィア音楽院主催の夏期コースのオーディションに合格し、修了コンサートに出演する。

二期会オペラ・ストゥーディオマスタークラス修了。『新進演奏家のタベ』に出演。

第20回ソレイユ新人オーディション審査員奨励賞受賞し、その受賞コンサートに出演。坂戸第九オペラ「カルメン」(レメンダード役)「アマールと夜の訪問者たち」(ガスパール役)、横浜シティーオペラ「魔笛」(僧侶役)等出演。

鈴木寛一、アルフレード・クラウス、スーソ・マリアテギ、エデルミロ・アルナルテスの各氏に師事。

二期会準会員。



村越大春（6日 リヌッチョ）

東京藝術大学卒業、同大学院在学中。

声楽を原田茂生、林康子、ジャンニコラ・ビリウッチ、寺澤直樹各氏に師事。2000年オーチャードホール・モーストリークラシック共催、第2回オペラティックバトル「明日のマリア・カラス、ぼくらのドミンゴを探せ」第1位。2004年、第9回コンセール・マロニエ21コンクール第2位。NHK-FM出演や神奈川フィルハーモニー管弦楽団とのコンサート、小林研一郎指揮、藝大フィルハーモニアにて奏楽堂モーニング・コンサート出演。2003年には師である林康子氏とコンサートにて共演を果たした。オペラでは、『椿姫』アルフレード、『ポッペアの戴冠』皇帝ネロ、『コシ・ファン・トゥッテ』フェランドなどを演じている。



沖野孝頼（5日 ゲラルド）

国立音楽大学声楽科を99年に卒業。

声楽を三林輝夫、伯田好史、橋本久喜の各氏に師事。ピアノを大杉祥子、竹島悠紀子、長沢康子の各氏に師事。(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第22期研究生修了。同修了オペラ公演はプッチーニ「ジャンニ・スキッキ」にリヌッチョで出演。03年9月、第1回東京音楽コンクールにて入選。04年11月、(株)プレルーディオの演奏家登録オーディション合格。03年11月(財)日本オペラ振興会主催「フレッシュコンサート2003Ⅱ」、04年1月「東京ロバートアンサンブル・テノールの饗宴」、04年12月「二期会オペラ・イエヌーファ」に合唱隊で出演など、各種コンサートに出演。

藤原歌劇団準団員、(株)プレルーディオアーティスト。



志摩大喜（6日 ゲラルド）

東京芸術大学声楽科卒業。

二期会オペラ研修所オペラ・ストゥーディオ第45期マスタークラス及び同研修所オペラ・プロフェッショナルコース第5期修了。これまでに「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「魔笛」「愛の妙薬」「こうもり」「リゴレット」、芸大オペラプロジェクト「蝶々夫人」「ジャンニ・スキッキ」、二期会公演「ポッペアの戴冠」などに出演。また、モーツアルト「戴冠式ミサ」「レクイエム」、シューベルト「ミサ曲」等のソリストを務めるなど幅広く活躍している。

2003年9月よりロータリー財団、ロームミュージック財団奨学制度によりイタリア、ミラノおよびピアченツァに留学。G.ニコリーニ国立音楽院にて学ぶ。

現在イタリア在住、二期会会員。



末吉朋子（5日 ネッラ）

国立音楽大学音楽教育学科卒業。財日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第18期修了。コンセール・ヴィヴァン新人オーディション合格。2005年国際オペラコンペティション「ドン・ジョヴァンニ」日本ブラックツエルリーナ代表としてイタリア選に出場。財日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第18期修了公演「フィガロの結婚（スザンナ）」でオペラデビュー。その他「コジ・ファン・トゥッテ（デスピーナ）」、「ヘンゼルとグレーテル（グレーテル）」、「照手姫（侍女）」などの作品に出演。またコンサートでは財日本オペラ振興会主催第18回新人演奏会、財日本オペラ振興会・財和光市文化振興公社共催第2回サンアゼリア・ヴォーカル・コンサート（財日本オペラ振興会主催第2回フレッシュコンサートなど）をはじめとする様々な演奏会に出演。

2001年～2003年イタリア・ヴェローナ留学。ヴェローナ・カイロス音楽院に在籍し、同主催の演奏会をはじめ、マルケ州ウルバニア市ズッカーリ劇場での演奏会など、イタリア国内でも数多くのコンサートに出演。

牧野正人、柴山昌宣、パオラ・フォルナザーリ・パッティの各氏に師事。

藤原歌劇団正団員。



新垣有希子（6日 ネッラ）

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。在学中に安宅賞受賞。2003年、芸大定期オペラ「フィガロの結婚」にスザンナ役で出演。その他、「秘密の結婚」のカロリーナ、「夢遊病の女」のアミーナ、「靈媒」のモニカ、「ジャンニ・スキッキ」のラウレッタ、「ラ・ボエーム」のムゼッタ役等をレパートリーとする。日本クラシック音楽コンクール第2位受賞（1位なし）、日本イタリア声楽コンコルソミラノ部門入選、飯塚新人音楽コンクール第2位受賞。イタリア、スポレート実験歌劇場にて、レナート・ブルゾンのマスタークラスに参加。

長谷川真弓、山咲史枝、井原直子各氏に師事。

二期会オペラ研修所49期マスタークラスに在籍。サントリーホールオペラアカデミー会員。



陰山雅代（5日 ラ・チェスカ）

日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第16期修了。

修了公演「子供と呪文」子供役で出演。

「魔笛」「修道女アンジェリカ」「椿姫」「ジャンニ・スキッキ」「フィガロの結婚」「チャルダーシュの女王」等に出演。藤原歌劇団公演「みどりの天使」チト役でデビューし、新国立劇場公演「花言葉」に出演。その他、レクイエム等の宗教曲ソリストとして各種演奏会に出演。

藤原歌劇団準団員。



山口由里子（6日 ラ・チェスカ）

東京芸術大学卒業。二期会オペラ研修所プロフェッショナルコース第2期修了。

ウイーンにて研鑽を積み、サンクトペルテンにて第17回ニコドスタイルオペレッタコンクールに入選する。ウイーン、ドイツにおいてユリアハマリ氏のマスタークラスを受講。

第15回日本声楽コンクール入選。これまでに「電話」ルーシー、「修禪寺物語」かつら、「チャルダーシュの女王」スタージ、「ミカド」ピッティシン他、マーラー「復活」、ブルームス「ドイツレクイエム」、バッハ「カンタータ」「ヨハネ受難曲」他、多くのソリストを務める。

故高波征夫、戸田敏子、毛利準、スザンデニスの各氏に師事。

桐朋芸術短期大学委託演奏員。二期会会員。



古沢利人（両日 ベット）

東京芸術大学声楽科卒業。多田羅迪夫、水野賢司、大森誠の各氏に師事。P. M. Fellaro 氏によるオペラ・マスタークラス2001修了。

これまで「フィガロの結婚」伯爵、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「魔笛」パパゲーノ、「愛の妙薬」ベルコーレ、「リゴレット」マルッコ、「椿姫」ドゥフォール、「カルメン」モラレス、「アンドレア・シェニエ」フレヴィイユ、「ラ・ボエーム」ショナール「トスカ」シャルローネ、「黒蜥蜴」明智小五郎などのオペラに出演する他、「カンタータ」(バッハ)、「メサイア」(ヘンデル)、「レクイエム」(モーツアルト、フォーレ)、「ミサ曲」(モーツアルト、シューベルト、フランク)、「第九」(ベートーヴェン)などの宗教曲、声楽曲のバス・ソロを務める。また近年は自作の歌曲を自作自演で発表するなど、多岐に渡り活動する。

現在山崎学園富士見中学校、高等学校非常勤講師。



東原貞彦（両日 シモーネ）

国立音楽大学声楽科卒業。

日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第11期を特待生で終了。

第1回立川市民オペラ「カルメン」、日本オペラ協会「春琴抄」等に出演後、渡伊。イタリアではロッシーニの「モーゼ」のタイトルロール、ヴェルディの「ナブッコ」(ザッカリーア)や「運命の力」(グアルディアーノ神父)など30を越す役を各地の市立歌劇場で演じ、好評を得る。イタリア、スイス、スペインでの音楽祭や新作オペラ公演、また、ミラノの大聖堂をはじめ、イタリア内外での宗教曲コンサートにも多数参加し、そのうちの幾つかはCDに収められている。

竹内肇、田島好一、ミレーナ・ダル・ピーヴァ、ニーノ・カルタの各氏に師事。

藤原歌劇団準団員。



真鍋 裕（両日 マルコ）

国立音楽大学卒業、同大学院修了。

田口興輔師事。

香川県サンポートホールこけら落とし公演の「こうもり」のファルケ役でデビュー。その他「秘密の結婚」ロビンソン伯爵「フィガロの結婚」アルマヴィーヴァ伯爵等出演。

現在国立音楽大学大学院演奏補助員。



小林真美子（両日 ゲラルディーノ）

昭和音楽大学声楽科卒業、同大学院首席修了。

同大学卒業演奏会、多摩六都フレッシュコンサート、町田シティ・オペラ協会ガラ・コンサート、同怜回推薦音楽会など多数のコンサートに出演。オペラでは、大学院修了公演「カブレーティ家とモンテッキ家」ロメオ役、「愛の妙薬」ジャンネット役、「フィガロの結婚」ケルビーノ役等で出演。今年は11月には「蝶々夫人」ケート役で出演予定。日本ロッシーニ協会会員、町田シティ・オペラ協会会員、渋谷区教育委員会青年国際交流SHIPメンバー。



三津山和代（5日 ツィータ/賛助出演）

愛媛県出身。東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院独唱科修了。

二期会オペラスタジオ修了。修了時に優秀賞受賞。文化庁オペラ研修所修了。94年秋より文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学。第6回トルトーナ国際音楽コンクール第3位入賞(1位なし)。第3回松方音楽大賞受賞、第3回藤沢オペラコンクール第3位。94年7月二期会公演『トロヴァトーレ』のイネスでオペラデビューを果たす。96年文化庁芸術祭出演『祝い歌が流れる夜に』“しま”の母親、97年7月二期会公演『リゴレット』チエブラー・ノ伯爵夫人等と共に好演。その他『蝶々夫人』スズキ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『こうもり』オルロフスキイ等をレパートリーとしている。02年は二期会・新国立劇場共催公演オペラ『忠臣蔵』に出演。05年7月には二期会『ジャンニ・スキッキ』のツィータで好評を博す。日本の創作オペラも含めた幅広い役柄を高度な歌唱力と演技力でこなし、説得力のある堅実な舞台を作つて定評がある。

二期会会員。



中村 靖（両日 スピネロッチョ/賛助出演）

昭和音楽短期大学卒業。同専攻科及びディプロマコース修了。ブルガリア国立音楽院を修了後、ミラノで研修を積む。在欧ブルガリア国立オペラ「ドン・カルロ」<ロドリーゴ>はじめ「椿姫」「アイーダ」「トスカ」等に主役バリトンの諸役で出演。藤原歌劇団に1993年「ラ・ボエーム」<ショナール>でデビュー以降、数多くの公演で活躍。新国立劇場には「マノン・レスコー」でデビュー。最近では日本オペラ協会の「瀧練太郎」「みづち」「たそがれは逢魔の時間」、藤原歌劇団の「エウゲニ・オネーゲン」「マクベス」等他、イギリス歌曲によるリサイタルを開催し好評を博している。下八川圭祐、吉田貴壽、小船幸次郎、M. ピンカス、A. ナイデノフ、G. シミオナート、P. M. フェラーロ、G. ヴァルデンゴの諸氏に師事。藤原歌劇団団員。



久保田真澄（両日 アマンティオ・ディ・ニコラーオ/賛助出演）

国立音楽大学卒業、同大学大学院終了。1994年五島記念文化財団の奨学生として渡伊。第6回財江副育英会オペラ奨学生。第62回日本音楽コンクール第3位。1996年リッカルド・ザンドライおよび第2回フェルッチョ・タリアヴィー二両国際コンクール入選。是安豊美、田島好一、佐藤征一郎、V. テッラノーヴァ、L. バラジョーラ、L. ゴッラの諸氏に師事。ヨーロッパ各地でのコンサート、オペラで活躍後、1999年に本格的に帰国。藤原歌劇団に1998年8月文化庁青少年芸術劇場公演「愛の妙薬」のドゥルカマーラ出演を経て、11月に新国立劇場共催「セビリアの理髪師」のバルトロで本公演デビュー。新国立劇場には1998年開場記念公演「アイーダ」のエジプト国王でデビュー以来、藤原歌劇団を中心に、新国立劇場、びわこホールなど数多くの公演で活躍。また各種コンサート、リサイタルでも活躍している。

第5回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。



松山いくお（両日 ピネルリーノ/賛助出演）

新潟県糸魚川市出身。昭和音楽短期大学卒業。東京声専音楽学校（現：昭和音楽芸術学院）オペラ研究科修了。オペラを活動の中心とし、数多くの舞台経験を持っている。93年イタリアのトリエステに留学。在伊中には数多くのコンサートに出演し高い評価を受けた。またギリシャ人の作曲家より、バリトンとパイプオルガンのための宗教曲「エレミアの12の哀歌」の献呈を受けてサン・ジュスト寺院において世界初演を果たし高い評価を得た。オペラにおいては「魔笛」のパパゲーノ、「泥棒とオールドミス」のボブ、「愛の妙薬」のドゥルカマーラ、「ドン・バスクアーレ」のタイトル・ロール、「コズィ・ファン・トゥッテ」のドン・アルフォンソ、「フィガロの結婚」のフィガロ、「奥様女中」のウベルト役など軽妙な役柄に多数のレパートリーを持っている。また最近では「フィガロの結婚」や「セヴィリアの理髪師」のバルトロ、「ジャンニ・スキッキ」のシモーネ、「ラ・ボエーム」のコッリーネ、「ランメルモールのルチア」のライモンド役の他、新潟県内において4年間で12回の公演を果たしたオペラ「てかがみ」の杉本監督役やミュージカル「みどりの天使」の庭師ムスター・シュ役などキャラクターを活かした役柄も積極的手がけて存在感のある役作りと歌唱で大きな好評を得ている。主宰する「ミラマーレ・コンサート企画」では、オペラを身近に感じてもらう事を目的とした解説つきのコンサートをシリーズで開催し着実な成果を上げている。日本演奏連盟会員、藤原歌劇団員、昭和音楽大学講師。



牧野正人（両日 グッチオ/賛助出演）

国立音楽大学卒業、同大学大学院終了。1984年、第3回日仏声楽コンクール第1位および審査員特別賞、第19回民音コンクール第3位。1985年第16回イタリア声楽コンクールでシエナ大賞受賞。1988年～89年ミラノに留学。在位中、バヴィア国際音楽コンクール第2位、エンナ市主催F.P. ネリア国際声楽コンクール第1位。

莊智世恵、波多野靖祐、中山悌一、疋田生次郎、M. カルボーネ、R. エリー、M. レアーレの諸氏に師事。

1990年に藤原歌劇団で「道化師」のシルヴィオ、「ドン・ジョヴァンニ」に抜擢され、共に絶賛を博し新進バリトンとして注目を浴びた。その後も数々のオペラに出演、いづれも成功を収めている。新国立劇場には開場記念公演「アイーダ」のアモナスロでデビュー。その後、藤原歌劇団共催「セビリアの理髪師」「ラ・ボエーム」ほか、新国立劇場への出演も多い。「天地創造」などのオラトリオや「第九」のソロなど各種コンサートでも活躍している。また、イタリア・バロック時代の音楽にも造詣が深く、オペラやコンサートに出演のほか、バロック時代の歌唱法のレクチャーやセミナーを各地で開催している。

第23回ジロー・オペラ賞受賞。浜松ゆかりの芸術家顕彰受賞。

藤原歌劇団員。

日本オペラ団体連盟

106-0031 東京都港区西麻布4-16-13 西麻布28森ビル8階
03-5466-3150